
2026 年 8 月 17 日 発行

■■ 民紹協メルマガ通信 NO. 196 ■■

発行：民紹協

いつもお世話になっております。本メールは、2 週間に 1 回提供しています。

<コンテンツ>

◆◆ 今週のひとこと

◆◆ T O P I C

◆◆ 気になる統計の動き―若年の仕事と育児の両立に関する意識調査

◆◆ 今週のひとこと

■ 「君、すごいね」

めずらしく茨城県に上陸した台風が頭上を通過したと思ったら、その後の週（8 月第 2 週）は、週平均気温が前週の 35℃超えから 5℃近く下がりました。すると、日中、セミの大合唱も戻ってきました。

セミといえば、夏休み子どもたちにとっては、もっとも身近な友達のような存在です。まず、たくさんいます。大きな声で鳴くのでどこにいるのかもわかる。素手で触っても咬みついたりしないので怖くない。そして、子どもながらに抱くのは「地下に何年もいたんだろう？君、すごいね」という敬意の思いです。

セミの適温は 25℃～30℃だそうです。8 月第 1 週のような猛暑酷暑のときには、「夏眠（かみん）」の状態で体力を温存することができるそうです。昨年や今年のような異常な高温の年には交尾・産卵もできず死滅してしまうのではと心配するのですが、セミは、幼虫の体内時計を操作して、「3 年グループ」「4 年グループ」「5 年グループ」を設けて、リスク分散をする知恵も使っているそうです。

詩人まど・みちおさんが合唱曲のために書いた詩に次のような部分があり、作者もまた「君、すごいね」と讃えています。

ー「つちのなかから けさ出てきたばかりなのに／もう セミがうたえてる／習ったこともない きいたこともない／とお〜い むかしの 祖先（そせん）の日のうたを」

（セミ～合唱組曲『虫の絵本』より）



◆◆ TOPIC

このコーナーでは、最近の労働関係の動きの中から、民営職業紹介事業に関係のある話題を紹介しています。

■ 1 メンタルヘルス対策に取り組む事業所割合は 63%／厚労省

厚生労働省は、8月7日、「2025年労働安全衛生調査（実態調査）」の結果を取りまとめ、公表しました。これによりますと、メンタルヘルス対策に取り組んでいる事業所の割合は63.0%（前年調査63.2%）で、このうち、ストレスチェックを実施している事業所の割合は64.0%（同65.3%）でした。事業所規模別にみると、労働者数50人以上の事業所で89.8%（同89.8%）、労働者数30～49人の事業所で58.4%（同57.8%）、労働者数10～29人の事業所で55.9%（同58.1%）となっています。

<詳しくは>

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/r07-46-50b.html>

■ 2 男性の育児休業取得者の割合が 50%超／厚労省

厚生労働省は、7月31日、「令和7年度雇用均等基本調査」結果を公表しました。これによりますと、育児休業取得者の割合は、女性が88.3%（令和6年度86.6%）、男性が50.9%（同40.5%）となりました。（注：ここで、育児休業取得者の割合とは、令和5年10月1日から令和6年9月30日までの1年間に在職中に出産した女性（男性の場合は配偶者が出産した男性）のうち、令和7年10月1日までに育児休業（産後パパ育休を含む。）を開始又は申出をした者の割合をいいます。）

<詳しくは>

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/71-r07.html>

■ 3 AI導入率 26.2%、情報漏洩等に不安／民間調査

日本生産性本部は、7月30日、第19回「働く人の意識調査」（2026年7月実施）の結果を公表しました。この調査では、前回（2026年1月実施）からAIについても質問項目が加えられていますが、これによりますと、職場でAIが導入されているとする回答は26.2%（前回21.5%）でした。従業員規模別では、1～100名が14.2%、101～1,000名が

30.0%、1,001 名以上が 54.0%となり、企業規模による差がみられます。

職場への AI の導入についての考えでは、プラスの評価項目では、「職場全体の業務の効率化につながる」が 58.6%（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）となる一方、マイナスの項目では、「重要情報の漏洩、著作権侵害などをしないか不安である」が 56.9%となりました。

<詳しくは>

<https://www.jpc-net.jp/research/detail/008153.html>

■ 4 「仕事で分からないことは生成 AI に相談」を約半数が支持／民間調査

(株) マイナビは、7 月 30 日、同社が運営する転職サイトを通じて正社員就職した労働者 700 名を対象に実施した「転職者の生成 AI 活用に関する実態調査」の結果を公表しました。これによりますと、「仕事で分からないことはまず生成 AI に相談する」ことをポジティブと思うか、ネガティブと思うか聞いたところ、20 代の 54.3%、30 代の 51.4%、全体でも 47.3% と約半数が「ポジティブ」と回答しました。転職に際しての「履歴書やエントリーシート作成」への生成 AI 活用については、「ポジティブ」は 37.0%にとどまり、理由としては、自分の個性や「らしさ」が消えてしまうことなどが挙げられました。

<詳しくは>

https://www.mynavi.jp/news/2026/07/post_54307.html

■ 5 「AI 面接」に半数以上が「良いと思う」／民間調査

エン(株)は、7 月 31 日、同社が運営する転職サイトのユーザー1,172 名を対象に「AI 面接」についてアンケートを行い、その結果を公表しました。これによりますと、面接相手が AI である「AI 面接」を「良いと思う」との回答が 53%となりました。AI 面接を受けた経験がある者は 7 %で、経験がある者に良かったことを聞くと、「時間が自由に決められた」(53%)、「人間の面接官より緊張せずに話せた」(25%)、「質問内容が分かりやすかった」(14%) などが挙げられました。

<詳しくは>

<https://corp.en-japan.com/newsrelease/2026/46157.html>

■ 6 子供に「仕事の話をする」が7割／民間調査

(株) アイデムは、7月16日、中学生の子供を持つ就労者1,200人を対象に実施された「子供の進路・職業選択における親の影響力に関する調査」の結果を発表しました。これによりますと、子供に自身の仕事についてどのような話をしているか聞いたところ、「業務内容」51.1%、「働く目的」49.7%、「仕事で大変なこと」44.4%などが話されていました。また、自身の仕事だけでなく、世の中の職業・仕事について子供と話す機会があるかを聞くと、「世の中には様々な職業・仕事があること」67.5%、「なぜ働く必要があるのか」62.8%、「職業によって、収入や休みなど条件が違うこと」57.9%、「仕事に就くために必要な能力やスキル」57.0%などについて話したことがあるとのことでした。子供の将来の選択に対するサポートの「理想の姿勢」としては、「子供と相談しながら一緒に考えていく」33.8%、「必要なら意見や助言はするが、進め方や判断は子供に任せる」26.3%などが挙げられました。

<詳しくは>

<https://apj.aidem.co.jp/enquete/473/>

☆

☆

◆◆ 気になる統計の動き

このコーナーでは、「行政の動き」「統計の動き」「労務管理」「研究・報告」等のテーマの中から、適宜取り上げて紹介しています。本号では、「統計の動き」として、厚労省の「共育（トモイク）プロジェクト」の調査を見ていくこととします。

■ 若年の仕事と育児の両立に関する意識調査

厚生労働省の共働き・共育で推進広報事業「共育（トモイク）プロジェクト」は、7月31日、「若年層における仕事と育児の両立に関する意識調査（速報）」を公表しました。「共育（トモイク）プロジェクト」とは、「職場」や「家庭」におけるいわゆる“ワンオペ”の実態を変え、男女ともに誰もが希望に応じて仕事と家事・育児を両立し、「共に育てる」に取り組める社会を目指す、厚生労働省の広報事業です。

〔結果の概要〕

○子どもをもつことを希望する若年層の約9割が、育休の取得を希望。そのうち約7割が、1ヶ月以上の育休取得を希望。

(1) 育休取得の希望

－希望あり：87.2%

－希望なし：12.8%

(2) 取得を希望する期間

－1週間未満：11.2%

－1週間～2週間未満：9.0%

－2週間～1ヶ月未満：11.2%

－1ヶ月～3ヶ月未満：13.1%

－3ヶ月～6ヶ月未満：11.0%

－6ヶ月～9ヶ月未満：4.2%

－9ヶ月～1年未満：11.0%

－1年～2年未満：18.3%

－2年以上：11.0%

○若年層の約7割が、会社を選ぶ時に、仕事（キャリア）とプライベートの両立を意識している、と回答。

－とても意識している：34.1%

－やや意識している：33.4%

－あまり意識していない：17.7%

－まったく意識していない：14.9%

○子どもが生まれたあとの働き方の希望は「フルタイムで定時帰宅」が約4割で最も多い。男性では「フルタイムで定時帰宅」が約4割、「フルタイム＋残業」が約2割の順で多く、女性では「短時間勤務」が約4割、「フルタイムで定時帰宅」が約3割の順で多い。

(1) 男性

－1位…フルタイムで定時帰宅：41.9%

－2位…フルタイム＋残業：20.4%

－3位…テレワークと組合せ：19.0%

(2) 女性

－1位…短時間勤務：36.1%

－2位…フルタイムで定時帰宅：29.6%

－3位…週3～4日など：25.1%

○子育て中の人企業が周囲に求めることとして、「業務量の適正化」「上司・管理職の理解促進」「長時間労働・残業の削減」が多く挙げられている。

－1位…業務量の適正化：37.5%

- －2 位…上司・管理職の理解促進：32.5%
- －3 位…長時間労働・残業の削減：29.6%
- －4 位…制度を使いやすい雰囲気づくり：27.6%
- －5 位…家事・育児分担の見直しに関する支援：24.8%

○「自分の職場は子育てとの両立がしやすい」と感じている人は、そうでない人に比べて、
＜今の職場で働きたい＞（「働きたい」と「どちらかという働きたい」の合計）と回答した割合が 44.9 ポイント高く、約 8 割。

－両立しやすい職場…＜今の職場で働きたい＞：78.0%

－両立しにくい職場…＜今の職場で働きたい＞：33.1%

＜詳しくは＞

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kodomo/shokuba_kosodate/jigyou_ryouritsu/topics/tp100618-1_00008.html

☆—————☆

◆◆ 《「厚労省人事労務マガジン」ダイジェスト》

ここでは、月 2 回程度発行される厚生労働省発行「人事労務マガジン」の最新号について、
職業紹介事業者の法令等改正に関係ありそうなものを取り上げて紹介します。

■2026 年 8 月 5 日発行 人事労務マガジン／定例第 190 号 ■

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_75242.html

※ 関係法令の制定や改正に関する情報掲載はございません。

☆—————☆

◆◆ 東京労働局からのお知らせ

「医療・介護・保育等職業紹介事業の適正な運営に係るオンライン講習会の開催」について
のお知らせが下記によりございました。

ご一読いただきますようお願い申し上げます。

8月26日（水）に医療・介護・保育等職業紹介事業の適正な運営に係るオンライン講習会を開催します！
--

このたび東京労働局では、主に医療・介護・保育等分野の職業紹介事業を行っている事業者を対象として、適正な職業紹介事業運営のためのオンライン講習会（Zoomウェビナー）を開催いたします。セミナーの詳細及びご参加をご希望の方は、下記URLをご確認ください。

https://jsite.mhlw.go.jp/tokyo-roudoukyoku/news_topics/jyukyuuchousei_20260826_3b_00001.html

・・・・・・・・ 民紹協からのお知らせ ・・・・・・・・

【東北ブロック・参加無料】職業紹介事業者ブロック交流会（対面実施）のご案内

民紹協では、「職業紹介事業者ブロック交流会」を7年ぶりに対面（会場実施）方式で開催いたします。コロナ禍で途切れてしまった繋がりを取り戻す機会となれば幸いです。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

■日時：2026年8月20日（木）14時～17時

■会場：PARM-CITY131 貸会議室5A（仙台市青葉区一番町3-1-16）

■内容：①宮城労働局講演

宮城労働局職業安定部需給調整事業課 課長 吉田 寿浩 様

「最近の指導監督状況と改正職業安定法施行規則等について」

②情報交換会（グループミーティングと情報の全体共有）

※予定するテーマ

「職業紹介事業におけるAIやSNSの利用」

「同業種事業者との業務提携、異業種事業者との協力」

「外国人材の職業紹介における課題」

その他、参加者からテーマを募ります。

■参加費：無料

■申込み：下記URLより申込フォーム（Google フォーム）にアクセスしてください。

<https://forms.gle/Ja1QcaWpWpCyk4sf8>

※Google フォームを利用できない方は事務局(03-3818-7011)までご連絡ください。

■その他：当日は「参加者名簿（事業所名、参加者氏名、都道府県、連絡先を記載）」を配付します。

■お問い合わせ：公益社団法人全国民営職業紹介事業協会 総務課：田代、星、日高

◆職業紹介責任者講習◆

職業紹介責任者の方はもとより、職業紹介責任者が行う従事者に対する教育として事業報告書に記載が可能です。是非当協会の講習を教育の機会としてご活用ください。

【集合型（リアル開催）】

◇東京：9/4（金）、9/14（月）、10/6（火）、10/19（月）、11/9（月）

◇愛知：9/18（金）

◇大阪：8/28（金）、9/25（金）

【オンライン】

9/2（水）、9/7（月）、9/9（水）、9/11（金）、9/16（水）、9/18（金）、9/28（月）、9/30（水）、10/2（金）、10/7（水）、10/9（金）、10/14（水）、10/16（金）、10/21（水）、10/23（金）、10/27（火）、10/29（木）、11/4（水）、11/11（水）、11/13（金）、11/17（火）

※各講習のお申込み・詳細は下記 URL（民紹協ホームページ）からお願いします。

<https://www.minshokyo.or.jp/course/apply/>

2. 職業紹介事業実践セミナー（オンライン開催）

※従事者教育としてご利用ください

職業紹介事業者及び従事者の方々を対象に、実践的な知識及びスキル等能力向上を図ることを目的として、オンライン（Zoom）で開催しています。「基本編」と「応用編」がありますので、経験等に合ったものをお選びいただくことができます。もちろん従事者教育として事業報告書へ記載可能です。疑問を直接相談できる質疑応答の時間もご用意しております。知識をアップデートし、新たな一歩を踏み出す機会としてぜひご参加ください。

【基本編】

令和8年9月15日（火）14：00～17：00 Zoom

「新・紹介担当者のための求人票セミナー」

令和8年10月30日（金）14：00～17：00 Zoom

「職業紹介スタートアップ支援セミナー」

【応用編】

令和8年8月28日（金）13：00～17：00

「職業紹介事業実務力アップセミナー」

「外国人材の定着を高める”フロー×ストック”戦略セミナー」

「行政機関による定期指導・調査の実務」

「外国人材の職業紹介セミナー（応用編）」

<https://www.minshokyo.or.jp/seminar/>

[illegible]

許可なく転載することを禁じます。

[illegible]